

様式1

津医対第327号
令和3年11月22日

島根県知事 丸山達也 様

開設者氏名 津和野町長 下森博之



地域医療拠点病院の指定について

標記について、次のとおり関係書類を添えて申請します。

記

1 開設者住所及び氏名(国及び県が開設する病院にあつては省略)

島根県鹿足郡津和野町枕瀬218番地18

津和野町長 下森博之

2 指定を希望する病院の名称及び住所

津和野共存病院 島根県鹿足郡津和野町森村口141番地

3 指定希望年月日

令和4年4月1日

4 添付書類

(1) 圏域の医療の状況及び圏域における病院の位置付け(様式任意)

(2) 病院の概況(様式任意)

① 沿革

② 施設及び設備

③ 診療科

④ 病床数

⑤ 患者数及び病床利用率(過去3年度)

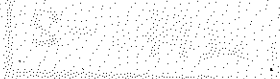
⑥ 職員数(職種・人数)

⑦ 機能(救急告示病院、病院群輪番制病院等)

(3) 地域医療対策事業計画書(別紙)

4. その他

上記1～3以外の事業計画がある場合には任意の別様式を作成し添付すること。



4 (1) 圏域の医療の状況及び圏域における病院の位置付け

①地域の状況

益田圏域は県の西部に位置し、益田市、津和野町、吉賀町からなり、森林が約9割を占める中山間地域である。

津和野町は平成17年9月25日に旧津和野町と旧日原町の合併により誕生した人口約7千人の町で、平成19年、20年と2年連続で国土交通省の一級河川調査で全国一と認定された高津川等の自然に恵まれている。加えて、城下町であることから多くの文化財を有しており、観光客も多く訪れる町である。

一方で人口減少、少子高齢化が進行しており、高齢化率は50%近くであるため、高齢者や移動が不便な住民への医療提供体制を整えることが急務である。

②津和野町内の医療施設と津和野共存病院の役割

津和野町内には公立医療機関である津和野共存病院、日原診療所のほかに、民間の医療機関が2施設と歯科医院が3施設あり、町の医療を担っている。

津和野共存病院は町内で唯一の入院施設を有する病院であり、地域包括ケア病床36床と一般病床13床の合計49床を持つ。

在宅医療（介護施設も含む）の受け皿としての急性期医療（在宅療養者の急性期増悪への対応）の提供や、機能回復および維持のための亜急性期医療・リハビリテーション機能を有している。

また、院内に介護老人保健施設及び訪問看護ステーション、津和野町の機関（医療対策課、地域包括支援センター）を併設し、地域の医療・介護を支える拠点となっている。

医師不足の為、平成18年12月に救急告示病院を取り下げたが、受け入れ可能な救急患者については対応している。

③津和野共存病院の位置付け

二次医療圏域（益田圏域）において、当院は益田赤十字病院の後方支援病院及び在宅療養支援病院として、回復期の患者対応を主とした医療を提供している。

現状としては、当院は救急告示病院ではないが、地域住民に密着した急性期医療（軽症～中等症対応）も提供しており、重症救急患者に対する相談や初期対応を行い、益田赤十字病院など適切な救急病院へ紹介している。

④益田赤十字病院との医療機能連携協定の締結（平成27年3月26日）

相互に有する医療機能を更に発揮し、この医療圏域において質の高い医療環境を確保することで、地域住民に適切な医療を提供するため、緊密かつ円滑な医療連携を図ることを目的とした協定を締結した。

（連携内容）

（1）相互の救急搬送を含む患者の紹介・受入

- (2) 診療に関する相互協力・支援 医局交流
- (3) 在宅療養推進のための共同事業の推進
- (4) 研修等による医療技術の向上
- (5) 人事交流等を通じた人材育成 ほか

4 (2) ① 津和野共存病院 沿革

- 昭和6年 有限責任石西購買利用組合共存病院を旧日原町に開設
- 昭和7年 津和野分院設置
- 昭和8年 津和野分院廃止
- 昭和16年 保証責任購買利用組合連合会鹿足病院開設と共に分院として再開
- 昭和17年 病院建物新築完成
- 昭和18年 島根県信用購買販売利用組合連合会に移管と共に津和野分院を鹿足病院と改称し本院となる(旧日原町の鹿足病院を日原分院と改称する)
- 昭和21年 津和野共存病院と改称(日原分院を日原共存病院と改称し、分離)
- 昭和23年 島根県施設農業協同組合連合会に移管
- 昭和45年 救急病院告示
- 平成3年 新築移転 常勤5科(内科・産婦人科・外科・脳神経外科・放射線科)
- 平成5年 小児科常勤
- 平成6年 整形外科常勤
- 平成10年 神経内科新設 眼科医師常勤
- 平成16年 泌尿器科新設
- 平成18年 外科非常勤化
- 平成18年 一般病床を109床に減床
- 平成18年 整形外科非常勤化
- 平成18年 一般病床を99床に減床
- 平成18年 救急病院告示取り下げ
- 平成19年 分娩中止、小児科非常勤化、泌尿器科廃止
- 平成19年 一般病床を50床に減床、医療療養病床49床新設
- 平成20年 3月31日 公設民営化
- 平成21年 医療法人橘井堂を指定管理者とする
- 平成24年 町医療対策課及び地域包括支援センターが院内で業務開始
- 平成27年 益田赤十字病院と津和野共存病院が医療機能連携協定を締結
- 平成30年 医療療養病床49床廃止 病院3階に介護老人保健施設せせらぎが移転
一般病床を49床に減床
- 令和2年 外科廃止

4(2)②施設及び設備

【施設】

施設の名 称	津和野共存病院	
所在地	津和野町森村口141番地	
設置目的	町民の健康保持に必要な医療を提供する。	
構造	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建外	
敷地面積	5,305.26㎡	
延床面積	5,447.41㎡	
竣工年月日	平成3年4月1日	
施設内容	病院本館	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
	物置	コンクリートブロック造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
	機械室	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建

【設備】

名 称	数量	名 称	数量
多項目自動血液分析装置	1	一般撮影装置	1
器械戸棚ステンレス	1	MRI	1
パラマウント電動ベッド	2	呼吸機能検査機器	1
生物顕微鏡一式	1	AED	1
生化学自動分析装置	1	パルスオキシメーター	2
一般撮影用高電圧発生器	1	人工呼吸器一式	2
X線TVシステム装置	1	手動式除細動器	1
サーボガスミクス	1	食器洗浄機	1
超音波診断装置一式	1	能動型自動間欠牽引装置	1
製氷器	1	電子カルテシステム一式	1
単純X線装置	1	解析付多機能心電計	1
オートリダー(オートクレープ用)	1	全身用X線CT装置	1
オートリダー(ガス滅菌用)	1	全自動電解質分析装置	1
ガススチームコンベンションオープン	1	インピーダンスオージオメーター	1
患者監視装置一式	1	血液ガスシステム	1
無散瞳眼底カメラ	1	温冷配膳車	1
医療画像観察・保管システム	1	デジタルラジオグラフィー	1
特殊入浴装置(オンラインバス)	1	成人用人口呼吸器一式	1
テーブルトップ遠心機	1	全身用X線骨密度測定装置	1
超音波画像診断装置	1	冷凍冷蔵庫・消毒保管庫	1
電話交換機一式	1	血液自動分析装置	1
上部消化管ビデオスコープ	1	EOG滅菌器	1

4(2)③診療科

内科	小児科	整形外科	産婦人科	耳鼻咽喉科	放射線科	神経内科	循環器内科
----	-----	------	------	-------	------	------	-------

4(2)④病床数

病棟区分	病棟	病室	ベッド数
一般病棟	2階病棟	19室	49床
地域包括病床(再掲)	(2階病棟)	(12室)	(36床)

4(2)⑤患者数及び病床利用率(過去3年度)

【平成30年度病棟】

	一般病床	地域包括	2階病棟全体
患者数	3,003	8,787	11,790
病床利用率	53.1%	75.6%	68.3%

【平成30年度外来】

	内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻咽喉科	放射線科	神経内科	循環器内科	合計
患者数	11,963	1,069	407	3,550	247	748	423	400	0	18,807

【平成31・令和1年度病棟】

	一般病床	地域包括	2階病棟全体
患者数	3,309	10,740	14,049
病床利用率	72.0%	84.8%	81.2%

【平成31・令和1年度外来】

	内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻咽喉科	放射線科	神経内科	循環器内科	合計
患者数	12,169	1,097	218	3,333	290	817	461	158	0	18,543

【令和2年度病棟】

	一般病床	地域包括	2階病棟全体
患者数	2,511	11,401	13,912
病床利用率	54.2%	89.6%	80.2%

【令和2年度外来】

	内科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	耳鼻咽喉科	放射線科	神経内科	循環器内科	合計
患者数	10,747	771	0	3,329	219	630	415	99	0	16,210

※令和2年4月1日外科標榜取下げ

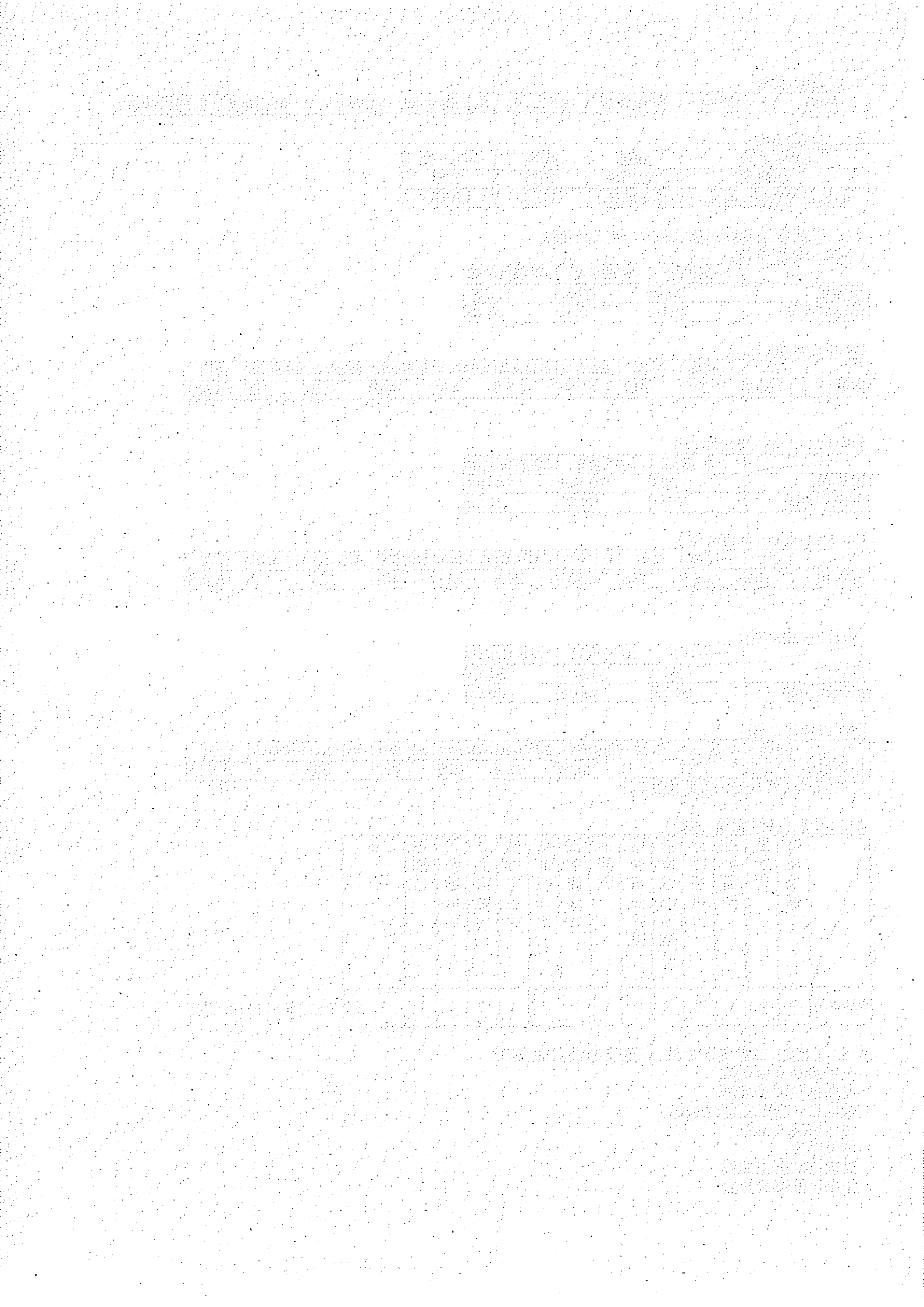
4(2)⑥職員数(職種・人数)

	常勤医師	看護師	准看護師	介護福祉士	診療放射線技師	臨床検査技師	薬剤師	理学療法士	作業療法士	管理栄養士	社会福祉士	医療補助者	事務員	計
常勤職員	7	20	5	6	2	4	1	2	1	1	2	1	14	66

令和3年11月1日現在

4(2)⑦機能(救急告示病院、病院群輪番制病院等)

- 在宅療養支援病院
- 結核指定医療機関
- 被爆者一般疾病医療機関
- 生活保護法指定
- 労災指定
- 難病指定医療機関
- 臨床研修協力施設



地域医療対策事業計画書

(病院名：津和野共存病院)

1. 無医地区及び巡回診療実施計画

市町村名	無医地区等 (令和3年9月30日現在)		巡回診療実施予定回数				備考			
	地区名	戸数 (戸)	人口 (人)	第1四半期	第2四半期	第3四半期		第4四半期		
津和野町	木部	257	546	3	3	3	3	計	12	○木部公民館 ・診療場所 公民館の一室 ・週実施回数 1回/月 ・診療曜日 第2火曜日 ・診療時間 9:00~12:00
	須川	73	152	3	3	3	3	計	12	○須川公民館 ・診療場所 公民館の一室 ・週実施回数 1回/月 ・診療曜日 第2火曜日 ・診療時間 13:30~16:30

- (注) 1. 当該地域医療拠点病院が担当する地域について、「無医地区、無医地区に準じる地区」(以下無医地区等)という。)及び「巡回診療実施予定回数」を対応させて記入すること。
2. 無医地区等の「地区名、戸数、人口」は、最近のものを記入すること。また、無医地区に準じる地区の場合は「地区名」の後に「準」と記入すること。
3. 「巡回診療実施予定回数」欄は、1巡回診療チーム1日1回として年間予定回数(例：第1四半期○○回)を具体的に記入し、上段()に当該巡回診療に係る実施日数(0.5日を単位とする。)を記入すること。
- なお、複数の無医地区等を1回の巡回診療で行う場合は、該当する無医地区等をまとめて一括記入すること。
4. 「備考」欄は、その地区における診療場所(例：公民館の一室、小学校の医務室等)、週実施回数、診療曜日、診療時間を具体的に記入すること。その他積置、冬期交通途絶期間等参考になるべきことを記入すること。また、巡回診療実施人員を医師○人、看護師○人、看師○人、運転手○人と具体的に記入すること。
- さらに、巡回診療開始予定時期について記入すること。

2. 診療所医師等派遣計画

診療所名	開設者	所在地	運営状況	職 種	派遣計画 (日数)				備考
					第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
該当なし								計	

3. 診療所代診医等派遣計画

診療所名	開設者	所在地	運営状況	職 種	派遣計画 (日数)				備考
					第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
該当なし								計	

- (注) 1. 「運営状況」欄は、現在の状況及び地域医療拠点病院から派遣を受ける前の状況についてそれぞれ常勤、非常勤(週○○回○病院から派遣等)、休診(○○年○月○日より休診)等を具体的に記入すること。
2. 「派遣計画」欄は、当該診療所に対する医師等の派遣予定日数を職種ごとに四半期別に記入すること。
3. 医師等派遣計画の「備考」欄には、派遣開始予定時期、派遣する医師等について「○○科 週○日 勤務時間等」等参考となる事項を記入すること。
4. 代診医等派遣計画の「備考」欄は、派遣開始予定時期、派遣を必要とする理由(見込)を記入すること。

4. その他

上記1~3以外の事業計画がある場合には任意の別様式を作成し添付すること。

